

三重・赤堀城跡 あかほり

1 所在地 三重県四日市市城西町

2 調査期間 一九九二年(平4)一月～二月

3 発掘機関 四日市市遺跡調査会

4 調査担当者 花井千幸

5 遺跡の種類 城館跡

6 遺跡の年代 一四世紀～一六世紀

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

赤堀城跡は、大小の河川によって形成された沖積低地の標高4m前後のところに所在する。急速に市街地化が進み、周辺の状況は大きく変わりつつあるところである。過去に二回の発掘調査が行なわれている。

今回の発掘調査は、地中送電線新設のための立坑掘削に伴うものであり、調査面積は約50㎡であった。

調査において検出した遺構は、堀と思われる東西溝、



(四日市)

南北溝、土塁である。溝埋土及び土塁の下層から土師器・須恵器・灰釉陶器・山茶碗・木簡等の遺物が出土している。

8 木簡の釈文・内容

(1) ・「三」

・「嶋」

45×25×3 011

南北溝の埋土中から出土したものである。形態及び墨書の内容から聞香札の可能性が高いと思われる。

9 関係文献

四日市市教育委員会『四日市市文化財保護年報三 一平成三年度 一』(一九九二年)

(花井千幸)

